

井上延茂関係資料目録

同志社大学人文科学研究所

2006年6月

解説

この目録には、2003年に京都府福知山市雲原の井上隆介氏より同志社大学人文科学研究所に寄託された同氏の祖父である井上延茂の関係資料 351 点（書簡 344 点、その他 8 点）が含まれている。

井上延茂は、1865 年（慶応元）に雲原村の素封家曾根家の季男として生まれた。井上家に養子に入り、82 年（明治 15）宮津天橋義塾、83 年（同 16 年）兵庫県豊岡実林義塾を修了後、与謝郡保信尋常小学校長、天田郡行積尋常小学校長などを歴任した。1907 年（明治 40 年）、日露戦後荒廃疲弊した村の建て直しを図るため請われて天田郡雲原村（現福知山市雲原）の村長に就任し、以降 32 年（昭和 7 年）までの 25 年間村長を務めた。村長のほか村の産業組合長や農会長も務め、村の経済の振興にも多大の貢献をした。

「明治の模範村長」として地方改良のため数々の事跡を残した人物であるが、「明治の村長」が一般にそうであったように、きわめて精神性が高く、強い公意識を持つ村長であった。村長就任の際、小学校長職は年俸 300 余円、これに対し村長は僅か年俸 22 円であった。「至誠廉潔の高士」（西原亀三）と評され、侵食を忘れ一貫して村政に尽くしたことが注目される。

村長としての井上の課題は村財政の確立と村民の生活の安定であったが、これを財産の造成（植林）、資金の積立て、貯金という公私の勤儉貯蓄により達成しようとした。また、村吏員の服務規程を定めるとともに、財務規定、簿冊整理規定等を明確にし役場の事務・統治機構を刷新した。つまり役場を近代の村の統治にふさわしい組織へと整備した。

本資料は、井上に宛てた書簡が大部分をしめるが、その発信人は西原借款で有名な西原亀三、天田郡教育長となった本庄彝や府会議員の北山乾三など多彩である。殊に西原から発信された書簡は封筒のみのもも含めると 135 点に上り、期間も 1912 年頃から 1937 年頃までの長期間にわたり交わされたものである。

西原は 1873 年（明治 6 年）雲原村に生まれた。朝鮮等での商業活動、寺内正毅の私設秘書等としての政界での活動に人生の前半は奔走した。そうした活動を続ける傍ら、実家に母を残していたこともあり村の状況にも一貫して心を砕いた。村に多くの寄付等をした。郷里性が強く、また農村自治についても一家言持っていた。村長を務める井上、一方東京に住み朝鮮や中国を駆け回る西原、しかし 2 人には郷里雲原村への熱い思いは共通であり、これが 2 人を個人的に親密な関係に結びつけた。西原は大正末期以降村の顧問的立場にあった。村の昭和恐慌対策に当たる中、村民の熱い期待を背負い、1935 年、村長に就任せざるをえなくなった。それ以降一時中断を挟んで 54 年まで村長を務めた。西原は 37 年東京を引き上げ村に帰参するが、井上宛書簡がこの年で終わっているのはこのためである。

西原には独自の農村自治の思想があった。西原によると、その核心は、生産と消費との均衡を図りながら、生産の増進により所得の増加を図り農民生活を安定向上させることである。西原から見れば、教育費と行政委任事務費を主とする役場費がほとんどを占めるよ

うな当時の町村行政のあり方は、自治の名に値しないものであった。村長となった西原は砂防工事、農道改修工事、農地の交換分合、そしてそれと一体で家屋の移転・改築を行なった。有畜農業を軸とした多角型農業経営の標準農家の創設と、併せて改良かまど・便所による生活環境の向上を目指した。国民健康保険組合の設置等により村の医療環境の改善に努めた。積極的に自作農創設事業を行なうと同時に、農地委員会に小作料を決定させたりした。今日の村づくりの原点がここにある。なお、雲原の砂防工事施設は2006年5月国の登録記念物に指定された。

書簡の内容から西原が砂防工事をはじめとする農村改革に熱心に取り組んだ様子がうかがえる。全体としての点数は決して多くはないが、西原亀三研究や農村社会史、地方自治史の研究の史料として貴重なものであり、今後の積極的活用が期待される。なお、当研究所には国会図書館憲政資料室の許可を得て複製した『西原亀三文書』のマイクロフィルムも保管されていることを付言しておきたい。

資料は当研究所教授庄司俊作が井上隆介氏より借用し、同事務室竹内くみ子が目録作成作業をした後、資料をデジタル化してCD-ROMに納めた。作業終了後、資料は目録とともに井上氏にお返した。

目録の記載事項は文献名、差出人、年月日、形態、内容となっている。書簡は差出人のあいうえお順に配列した。年月日の不明な箇所はー（ハイホン）とし、また年月日を推定したものには[]（鍵かっこ）を補った。推定が困難なものは「年月日不明」とした。内容は、書簡にかかれた内容を簡単に要約した。

最後に、本資料を寄託していただいた井上隆介氏に深甚なる感謝の意を表します。

2006年6月13日

同志社大学人文科学研究所

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
1	井上延茂宛書簡	芥川靖	1931.2.4	封書1通	貴兄の旧知神谷氏今回議員立候補につき協力お願い
2	井上延茂宛書簡	芦田安兵衛	1922.5.29	封書1通(封筒なし)	小学校長を病気退職につき挨拶
3	井上延茂宛書簡	芦田三折	1923.5.24	封書1通	曾根氏尽力により結納すむ
4	井上延茂宛書簡	足立省三	19--.7.15	封書1通	先日の訪問時歓待を受けた礼
5	井上延茂宛書簡	石間正巳	1937.4.28	封書1通	雲原砂防工事監督駐在中の礼
6	井上延茂宛書簡	居相彌吉	1910.10.18	封書1通	鳥取街道開修に関し当局へ陳情の件
7	井上延茂宛書簡	井上卓郎	1929.11.9	封筒のみ	
8	五十五銀行宛書簡	井上延茂	1923.5.29	封書1通(封筒なし)	借入金證書
9	井上延茂宛書簡	井上信利	19--.11.21	封筒のみ	
10	井上延茂宛書簡	井上弘文	1902.1.21	封書1通(封筒なし)	息子中学進学につき助言お願い
11	井上延茂宛書簡	今川仙之助	19--.1.16	封書1通	井上村長再任を期待
12	井上延茂宛書簡	今川仙之助	1918.11.3	封書1通	西原氏帰郷の特電いただくが公務にて東上の為欠礼
13	井上延茂宛書簡	今川仙之助	19--.10.24	封書1通	貴地小学校住宅建築費補助金の件
14	井上延茂宛書簡	今川仙之助	19--.12.10	封書1通	御愛嬢婚礼祝い
15	井上延茂宛書簡	今川仙之助	19--.12.23	封書1通	別紙河守町よりの回報ご覧請う(別紙は不明)
16	井上延茂宛書簡	今川仙之助	1936.8.24	封書1通	娘病気見舞いの礼及び病状報告
17	井上延茂宛書簡	今川仙太郎	1937.5.5	封書1通	10日神戸裁判所に出向ゆえ11日貴村へ参る旨
18	井上延茂宛書簡	今川仙之助	1923.10.25	封書1通	在庁三年所感
19	井上延茂宛書簡	今川退三	[1932].3.11	封書1通(封筒なし)	村長退職にあたり功績たたえる
20	井上延茂宛書簡	今川退三	19--.1.22	封書1通	曾根君、西原氏に依頼し中央官庁へ志願の件賛成
21	井上延茂宛書簡	岩尾鹿蔵	1905.11.8	封書1通	戦争もいよいよ講和に相成り戦地引き上げを準備
22	井上延茂宛書簡	岩尾鹿蔵	1906.1.1	封書1通	戦地より年始の祝詞
23	井上延茂宛書簡	岩間儀左郎	19--.4.15	封書1通(封筒なし)	舞鶴明倫へ転任挨拶

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
24	井上延茂宛書簡	大上[カ]	19--.3.25	封書1通(封筒なし)	帰途下夜久野村今里山林視察し無事帰宅
25	井上延茂宛書簡	大槻高蔵	1932.9.21	封書1通	新聞にて村長辞任を知る
26	井上延茂宛書簡	大槻高蔵	1935.7.4	封書1通	牧君転任後の後任に関して。井上氏事績集編集にあたり一句送付
27	井上延茂宛書簡	[大槻]恒二	19--.4.28	封書1通(封筒なし)	病気も少々は快方に向かうが不在中は迷惑をかける
28	井上延茂宛書簡	大槻恒二	19--.5.6	封書1通	病状報告および代用教員雇入れお願い
29	井上延茂宛書簡	大場義衛	19--.11.18	封書1通	献上品山芋誠に見事なる品にて感謝
30	井上延茂宛書簡	大場義衛	19--.8.10	封書1通	国政調査訓練会に協力の礼
31	井上延茂宛書簡	大場義衛	1917.10.31	封書1通	知事へ献上の山芋体裁よく荷造りを願う
32	井上延茂宛書簡	大場義衛	1922.4.19	封書1通	雲原村校長本庄氏視学転勤の件
33	井上延茂宛書簡	大場義衛	1923.3.11	封書1通	村長退職遺憾ながら病気にては仕方なし
34	井上延茂宛書簡	大場義衛	1924.2.29	封書1通	干柿恵送の礼、来4月宮津線開通
35	井上延茂宛書簡	大林源太郎	1905	封書1通	渡清以来無事にて奉天付近の戦闘に参加
36	井上延茂宛書簡	大林長蔵	1904.12.24	封書1通	後備歩兵第58聯隊へ入隊
37	井上延茂宛書簡	大林長蔵	1905.10.24	封書1通	日露戦講和となり隊解散になる
38	井上延茂宛書簡	大林長蔵	1905.5.21	封書1通(封筒なし)	日本男子清国人と比較せしも矮小なり食の改善必要
39	[生徒]宛書簡	大林松太郎	年月日不明	封書1通(封筒なし)	従軍報告
40	尋常小学校同窓会長宛書簡	大林松太郎	1904.8.4	封書1通	日露戦、愈々折木城攻撃に参加
41	井上延茂宛書簡	大林長蔵	1905.3.21	封書1通	日露戦、救平台付近での戦闘の模様
42	井上延茂宛書簡	大林松太郎	1905.5.20	封書1通	昨年出征以来無事にて従軍の旨
43	井上延茂宛書簡	大見悦之助	19--.6.6	封書1通	模範村村長の後任は令息に期待
44	井上延茂宛書簡	岡崎正規	1923.3.23	封筒のみ	
45	井上稔宛書簡	岡田成義	19--.4.7	封書1通(封筒なし)	祖父上様御事跡恵贈御礼
46	井上延茂宛書簡	荻野国雄	19--.-.7	封筒のみ	

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
47	井上延茂宛書簡	荻野俊太郎	1937.5.25	封筒のみ	
48	井上延茂宛書簡	荻野俊太郎	1937.8.23	封筒のみ	
49	井上延茂宛書簡	荻野俊太郎	1938.2.11	封筒のみ	
50	井上延茂宛書簡	荻野猛	1924.3.7	封書1通	肋膜にて療養中、農会を辞任する旨
51	井上延茂宛書簡	奥田孝雄	19--.9.14	封書1通	中西良蔵妹宇治より帰国にて人足用立依頼
52	井上延茂宛書簡	奥村	[1905].7.24	封書1通(封筒なし)	大使米国へ出発、撤去は十月初旬頃と予想
53	井上延茂宛書簡	奥村	10.18	封書1通	凱旋間近内命は二十三日ごろとなる見込み
54	井上延茂宛書簡	奥村	19--.10.23	封書1通(封筒なし)	同窓会総会開催の模様通知ありがたく拝見
55	井上延茂宛書簡	奥村	19--.4.13	封書1通(封筒なし)	明日広田蔵吉氏葬儀
56	井上延茂宛書簡	奥村	1906.9.12	封書1通	日露戦遼陽攻撃死傷者数も甚だし
57	井上延茂宛書簡	奥村	1912.12.8	封書1通	四男負傷のため元川へはお供できず
58	井上延茂宛書簡	奥村卯七郎	19--.6.14	封書1通	村長辞任につき長年の功績たたえる
59	井上延茂宛書簡	奥村卯七郎	19--.8.24	封書1通	近いうち村長辞任の発表いたす旨
60	井上延茂宛書簡	奥村卯七郎	1923.7.4	封書1通	公会堂竣工式に祝いの礼
61	井上延茂宛書簡	奥村[喜間多]	19--.8.13	封書1通(封筒なし)	乱財始末一際に尽力を賜り深謝
62	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	19--.8.22	封書1通	拙家改革一条に付配慮賜り深謝
63	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1904.11.12	封書1通	満州より従軍報告
64	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1904.12.16	封書1通	戦地報告並に留守宅監督依頼
65	井上延茂宛書簡	奥村[喜間多]	1904.12.6	封書1通(封筒なし)	隊にて炊事係を拝命
66	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1904.12.7	封書1通	大隊付けになる
67	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1905.1.18	封書1通	戦地報告
68	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1905.10.30	封書1通	戦地引揚げ挨拶
69	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1905.11.8	封書1通	凱旋期日神戸着は来月25日

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
70	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1905.3.18	封書1通	行学同窓会女子部成立の祝い
71	井上延茂宛書簡	奥村[喜間多]	1905.6.25	封書1通(封筒なし)	日露戦争戦局、日本軍目下旅順陥落に全力を注ぐ
72	井上延茂宛書簡	奥村喜間多	1905.7.3	封書1通	大山大将旅順大連などすべて指揮されることになる
73	井上延茂宛書簡	織田團蔵	19--.2.1	封書1通	購入金今季分は他ににて借用
74	井上延茂宛書簡	織田團蔵	19--.3.15	封書1通	製糸業操業費千円都合お願い
75	井上延茂宛書簡	片岡久兵衛	1936.5.20	封筒のみ	
76	井上延茂宛書簡	加藤宥太郎	19--.6.4	封書1通	金の件帰宅の折都合つけるので実家へは伝言無用
77	井上延茂宛書簡	鴨志田磯五郎	1918.7.20	封書1通	子息卓郎氏の成績の件にて来校願いたし
78	井上延茂宛書簡	川戸時太郎	19--.8.14	封筒のみ	
79	井上延茂宛書簡	北山乾三	1923.3.22	封書1通	雲原村感謝会残念ながら欠席
80	井上延茂宛書簡	北山乾三	1923.8.11	封筒のみ	
81	井上延茂宛書簡	北山乾三	1923.9.5	封書1通	足達国之助君へも援助お願い
82	井上延茂宛書簡	北山乾三	1923.11.11	封書1通	豊原みさを身上調査報告
83	井上延茂宛書簡	京都府天田郡青少年團	1937.8.18	封筒のみ	
84	井上延茂宛書簡	京都府教育会天田郡部会	1937.10.2	封筒のみ	
85	井上延茂宛書簡	欽之輔	19--.5.13	封書1通(封筒なし)	壮健にて軍務に精励
86	井上延茂宛書簡	日下部一成	19--.10.14	封書1通(封筒なし)	懇書拝受の礼
87	井上延茂宛書簡	日下部大助	1928.12.21	封書1通	還暦祝いの書翰頂いた礼
88	井上延茂宛書簡	啓三	19--.11.16	封書1通(封筒なし)	井上の退職痛惜の至り
89	井上延茂宛書簡	故	1905.9.10	封書1通	ポーツマス条約に関する新聞記事同封
90	井上延茂宛書簡	公庄槌蔵	1895.8.2	封書1通(封筒なし)	当商会西原解任は断念、
91	井上延茂宛書簡	古坂与之吉	1905.4.30	封書1通	奉天の第三軍岡本兵站司令部に配属
92	井上延茂宛書簡	五十五銀行	1903.5.5	封書1通	磯田、曾根両氏貸付金の返済督促

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
93	井上延茂宛書簡	五十五銀行	1903.6.4	封書1通(封筒なし)	金員貸付約定証案送付
94	井上延茂宛書簡	五十五銀行	1929.2.19	封書1通	貸付金返済催促
95	井上延茂宛書簡	小高菊蔵	1905.8.18	封書1通	我が五十八連隊鷗緑江軍に編入さる
96	井上延茂宛書簡	小谷源太郎	1905.12.9	封筒のみ	
97	井上延茂宛書簡	小谷源太郎	1905.8.26	封書1通	鮑家屯にて軍務に従事
98	井上延茂宛書簡	小谷源太郎	1906.1.9	封書1通	当隊2月19日撫順出發帰途に着く予定
99	今川仙之助宛書簡	小林篤二	1920.12.22	封書1通	安田カネ二女身上委細
100	井上延茂宛書簡	坂倉	19--.4.26	封書1通(封筒なし)	見事な蘭恵贈の礼
101	井上延茂宛書簡	佐上信一	1929.9.18	封書1通	赤十字社会合案内
102	井上延茂宛書簡	砂後幾蔵	1930.4.28	封書1通	拙宅経済困却につき相談
103	井上延茂宛書簡	佐竹岸之助	1905.4.20	封筒のみ	
104	井上延茂宛書簡	佐竹岸之助	1907.4.6	封書1通	行学同窓生矯風会結成の誓
105	井上延茂宛書簡	塩見信二郎	19--.9.23	封書1通	借金本月分送付
106	井上延茂宛書簡	時事新報社	1938.6	封書1通	自治制発布五十周年記念勅語謹書頒布案内
107	井上延茂宛書簡	神宮神部署京都支署	1919.6.19	封書1通	皇大神官大麻曆頒布事務主事補人事報告
108	井上延茂宛書簡	曾根	19--.1.22	封書1通(封筒なし)	本省への採用西原氏に依頼願う
109	井上延茂宛書簡	曾根	19--.7.6	封書1通	京都にて文具店を経営する予定
110	井上延茂宛書簡	曾根重太郎	19--.7.29	封書1通	渡満後壮健にて従軍の旨
111	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1923.8.4	封書1通	縁談の件宜しく取計い願う
112	井上延茂宛書簡	[曾根]藤吉	1909.3.13	封書1通(封筒なし)	局長昇進に尽力いただくが失敗に終わる
113	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1923.3.29	封書1通	宇治郡会にて解散式あり、郡制も愈々廃止となる
114	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1923.7.26	封書1通	府議選挙戦醍醐あたりは猛烈な競争
115	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1923.9.16	封書1通	大震災勃発、卓郎氏の安否如何

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
116	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1924.5.14	封筒のみ	
117	井上延茂宛書簡	曾根藤吉	1928.4.15	封書1通	京都府庶務課丹後丹波出張所に勤務することになった旨
118	井上延茂宛書簡	曾根益三	[1912].2.17	封書1通	立替金返却願い
119	井上延茂宛書簡	曾根和助	1919.7.19	封書1通	先日多人数で厄介になり深謝
120	井上延茂宛書簡	大日本武徳会	1904.1.16	封書1通	電信開始につき祝詞
121	井上延茂宛書簡	高木半兵衛	1925.3.29	封書1通	福知山駐在の軍隊、工兵部へ岡山移転歩兵第二大隊は存留
122	井上延茂宛書簡	高木半兵衛	1937.3.13	封書1通	村長辞任挨拶状の礼
123	井上延茂宛書簡	岳浦喜間多	1905.8.31	封書1通	米国において講和26日締結の趣、条件に納得いかず
124	井上延茂宛書簡	岳浦	1905.9.24	封書1通	近々撤兵神戸に上陸のこと決定される
125	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.1.2	封書1通(封筒なし)	病氣見舞い
126	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.11.13	封書1通(封筒なし)	山芋恵送の礼
127	井上延茂宛書簡	竹澤[徳蔵]	19--.11.13	封書1通	行幸に際しての献上品調達の礼
128	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.5.10	封書1通	病氣見舞い
129	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.5.4	封書1通	雲原村府税徴収完了、関係吏員尽力に感謝
130	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.5.5	封書1通	上半期府税完納につき感謝の意
131	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.6.15	封書1通(封筒なし)	先日訪問の礼
132	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.6.6	封書1通(封筒なし)	植村氏の件何分にもよろしく
133	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	1911.5.30	封書1通	植村家一件
134	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	1911.5.30	封書1通	京城より帰村の植村正治のため尽力お願い
135	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	1932.11.15	封書1通	山芋恵送の礼
136	井上延茂宛書簡	竹澤徳蔵	19--.6.14	封書1通	病氣見舞い
137	井上延茂宛書簡	武成仲吉	19--.11.21	封書1通(封筒なし)	貴地方出張の際頂いた名産の礼
138	井上延茂宛書簡	太吾衛家内	年月日不明	封書1通(封筒なし)	先日主人参上ご迷惑の儀依頼につき礼

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
139	井上延茂宛書簡	但馬銀行出石支店	1929.2.14	封書1通	用立金利子支払いの件
140	井上延茂宛書簡	但馬銀行出石支店	1929.3.30	封書1通	年賦用立金返金領収の旨
141	井上延茂宛書簡	谷口菊蔵	1930.4.6	封書1通	歯痛患い参上できぬ旨
142	井上延茂宛書簡	玉島弘太	1923.12.15	封書1通	機嫌伺い
143	井上延茂宛書簡	玉島覚	1923.9.6	封書1通	関東にて大震災あった由、卓郎氏の安否如何
144	井上延茂宛書簡	丹州時報社福知山支局	1922.6.9	封書1通	福知山支局開設挨拶状
145	井上延茂宛書簡	藤吉	1909.8.26	封書1通(封筒なし)	転地療養報告
146	井上延茂宛書簡	留岡幸助	19--.4.9	封書1通(封筒なし)	「斯民」掲載のため最近の写真送付お願い
147	井上延茂宛書簡	中垣悦	1924.1.	封書1通	文子様結婚祝い
148	井上延茂宛書簡	中垣儀一郎	1913.2.19	封書1通	共益社職員待遇規定送付
149	井上延茂宛書簡	中垣太郎	1925.6.14	封書1通	南海沿線玉出方面に転居を計画
150	井上延茂宛書簡	中垣太郎	1937.3.24	封書1通	照会の荻野広太郎氏に関して
151	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1921.2.12	封書1通	多年民衆のために働かれる姿に敬服
152	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1923.12.12	封書1通	藤田氏後任の件不可能ゆえ他者探索お願い
153	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1923.3.12	封書1通	井上の村長辞任遺憾
154	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1923.4.20	封筒のみ	
155	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1924.11.25	封書1通	感謝状送付延引の侘び
156	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1928.12.20	封書1通	高木銀行と雲原組合預金銀行合併問題に関して
157	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1928.6.21	封書1通	7月より福知山へ移住の通知
158	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1928.7.16	封書1通	婦人会幹部への指導よろしく
159	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1929.7.4	封書1通	信用組合より預金多謝、利率に関しては今井氏より事情聞き取り宜しく
160	井上延茂宛書簡	中島銚三郎	1938.11.30	封筒のみ	
161	井上延茂宛書簡	西原亀三	1895.2.21	封書1通(封筒なし)	今回の一件は慙愧に堪えずが会社を想う余るの行為

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
162	井上延茂宛書簡	西原亀三	1912.1.7	封書1通	静子重患に陥るに付ニ良戸籍の儀急速に 手続願いたし
163	井上延茂宛書簡	西原亀三	1912.1.7	封書1通	実印は井上治右衛門保管、捺印のうえ至急 手続き(何の?)願う
164	井上延茂宛書簡	西原亀三	1912.3.13	封書1通	共益社店員の精神修養並弊家子供教養の 為漢学先生を雇いたし、適任者紹介願う
165	井上延茂宛書簡	西原亀三	1913.1.19	封書1通	ハルピンで東清鉄道長と会談、共益社活動 区域の進捗を計る
166	井上延茂宛書簡	西原亀三	1914.1.15	封書1通	日本綿布満州輸出組合成立、子供ら京城 に引き取り後妻を娶ることも考える
167	井上延茂宛書簡	西原亀三	1914.4.28	封書1通	八幡宮鳥居建設の費用全部寄付する旨
168	井上延茂宛書簡	西原亀三	1914.6.25	封書1通	南清、北清を視察。支那は無限の石炭鉍 量、肥沃なる土地、勤勉にして忍耐なる民を もつ故将来はアメリカ以上となるや
169	井上延茂宛書簡	西原亀三	1914.8.29	封書1通	鳥居寄付につき配慮礼。欧州時局の急変 は遂に東洋に波及
170	井上延茂宛書簡	西原亀三	1915.11.12	封書1通	共益社の事業は朝鮮に於いてはさらに施す 処なくに此際勇退し帰郷を決意
171	井上延茂宛書簡	西原亀三	1915.12.1	封書1通	小児の乳母無理であれば里親を求めるほう 容易か。妻の貧血回復せず小児だけでも帰 国させたし
172	井上延茂宛書簡	西原亀三	1915.3.4	封書1通	長男一良尋常五年終了後京城に転学させ たく必要書類配慮願う
173	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.12.12	封書1通	森下の土地三百五十円にて買い受けるが 金貸与の件はお断り
174	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.12.14	封書1通	北京へ一ヶ月出張
175	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.4.22	封書1通	老母宅に女中雇入れ手配宜しく
176	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.5.11	封書1通	菊子離籍手続の件、書類作成し送付願 い
177	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.5.16	封書1通	曾根吉蔵氏山林買入につき金子何日ごろ 必要か
178	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.5.21	封書1通	果樹園の件園丁適当なるもの推挙願 い
179	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.8.5	封書1通	留守宅より金子入用の報あり治久銀行にて 受取を宜しく

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
180	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.9.10	封書1通	信用組合預金は如何決定に相成るや
181	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.9.20	封書1通	山林代金七百元治久銀行にて請取依頼
182	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.10.2	封書1通	30日以来暴風雨にて東都電信電話不通。福知山の出水ありし趣郷里の状況杞憂
183	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.10.2	封書1通	高山幸左衛門逝去は雲原村のためにも遺憾
184	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.12.12	封書1通	萩野泰男書簡同封(久原鉦業の件で指示請う)
185	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.2.2	封書1通	対支政策並殖民政策は勿論、内政の刷新改善は政党政治の克するところにあらず、憲法の活用緊要とするところ
186	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.6.10	封書1通	信用組合の件その後如何進行?
187	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.8.6	封書1通	衆愚政治の現状にては其前途不安に堪えず
188	井上延茂宛書簡	西原亀三	1919.5.12	封書1通	東都に寓居買求めに付印鑑証明および実印送付お願い
189	井上延茂宛書簡	西原亀三	1919.7.19	封書1通	福知山城址保勝趣意書来るが、寄付の意思なき旨貴兄より伝え願いたし
190	井上延茂宛書簡	西原亀三	1919.9.27	封書1通	寓居漸く落成。老母伴い上京願いたし
191	井上延茂宛書簡	西原亀三	1920.11.5	封書1通	卓郎氏(井上子息)養子の話あるが如何
192	井上延茂宛書簡	西原亀三	1920.4.11	封書1通	株式暴落の為恐慌の状を呈し、丹後地方も生糸暴落で影響少なからず趣。生産並消費分配の整然たる経路なき現社会状態にては当然
193	井上延茂宛書簡	西原亀三	1920.7.6	封書1通	息子三良英語教育の為東京へ引き取る。現在の経済恐慌の因由を究明弊見安定策を近々印刷送付する
194	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.2.28	封書1通	3月10日頃退院、その後駿河興津にて転地療養する旨
195	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.3.27	封書1通	村長留任承諾に欣喜。植林費寄付金帰東後に送金
196	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.4	封書1通	製紙企業に関し研究考慮、進歩的な施設実現し技術磨けば高知静岡に勝るべき結果雲原村にても遠からず

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
197	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.4.27	封書1通	卓郎君(井上令息)赴任先よりたより寄こし安堵いたす
198	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.5.23	封書1通	前本庄校長より不要書籍寄贈依頼あり、送付するに付き整理宜しく
199	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.7.1	封書1通	卓郎氏郵便局休暇終了後も帰東せず、連絡もなし
200	井上延茂宛書簡	西原亀三	1922.9.12	封書1通	植林の件、北桑山国の苗純良品にて之を植付るにつき高見を請う
201	井上延茂宛書簡	西原亀三	1923.12.8	封書1通	井上嘉造氏畑地の件は大兄に委任。山本内閣は風前の燈、無気力無能なること言語に絶する
202	井上延茂宛書簡	西原亀三	1924.1.26	封書1通	今回の政変は国運展開の機会と思ひ期待するも国論の反抗を惹起困った有様
203	井上延茂宛書簡	西原亀三	1924.9.1	封書1通	金一壺千円送付、五百円は村方への寄付に、五百円は植林資金へ寄付。五カ年の寄付金もあと一年にて終了
204	井上延茂宛書簡	西原亀三	1925.5.9	封書1通	山林代金送付、名義は小生に。山林は一纏として永久に保存の方法を講し置きたく思案中
205	井上延茂宛書簡	西原亀三	1925.9.27	封書1通	田中男の揮毫出来上り送付。三岳植林計画明年より相当の組織を以て進行致したき旨
206	井上延茂宛書簡	西原亀三	1926.10.18	封書1通	村造林費寄付に対し本日賞勳局の褒状受領
207	井上延茂宛書簡	西原亀三	1926.12.13	封書1通	一良の縁談相手調査お願い。貴族院各派有志時局匡正懇談会を実行
208	白井松次郎宛書簡	西原亀三	1926.5	封書1通(封筒なし)	法人特別代理人選任申請書
209	井上延茂宛書簡	西原亀三	1926.9.12	封書1通	清浦氏一行支那漫遊後に帰郷予定。息子の縁談相手の写真送付願う
210	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.1.26	封書1通	裏日本未曾有の大雪の趣にて妻の帰郷は中止。里仁会の本年度寄付金小切手にて送金
211	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.1.8	封書1通	塩見氏息女嫁候補として調査お願い。政界解散必至の状況に進むが貴族院に解散不可論の空気濃厚
212	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.10.20	封書1通	里仁会本年度寄付金送付。来年度植付予定地の地開きの状況は如何
213	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.3.30	封書1通	震災地復興助成のため北丹復興後援会を設置、近々町田農相、貴族院議員実地視察
214	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.4.10	封書1通	震災地復興は知事も可及的急速に行う意向。稔氏公誠校長就任は雲原天座児童教育上も慶祝

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
215	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.6.24	封書1通	香典寄付の方策等相談
216	井上延茂宛書簡	西原亀三	1927.8.27	封書1通	里仁会山林購入記帳其の他手続に関し弁護士に相談、結果報告
217	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.1.9	封書1通	神宮寺山林買受けるに付、名義三良に登記手続き処理お願い
218	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.11	封書1通	癩の治療薬について指示
219	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.12.12	封書1通(封筒なし)	東部電力配当金領収の為委任状返送お願い
220	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.3.30	封書1通	雲原留守居を三良とする。前留守居小谷には与謝の田地を寄贈取計い願う
221	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.3.8	封書1通	山林買取費用四百円送金郵便為替にて送金。村長の件は再任を願う
222	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.4.25	封書1通	近々村有野山一部売却の趣、弊宅所有地接続地はなるべく買得故配意願いたし
223	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.4.30	封書1通	村長重任承諾くだされ欣幸至極
224	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.5.10	封書1通	東部電力株五百株を里仁会の所有とし、一部を植林並管理基本金として寄付。済南事変勃発、内憂外患の状
225	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.5.16	封書1通	株式名義書換の為財団法人西原里仁会登記簿抄本送付願う
226	井上延茂宛書簡	西原亀三	1930.2.2	封書1通	癩を患う井上に種々治療方法を申し送る
227	井上延茂宛書簡	西原亀三	1932.6.25	封書1通	一良名義の不動産三良名義に変更手続お願い
228	井上延茂宛書簡	西原亀三	1936.3.12	封書1通	(2.26)事件の内容判明するとともに陛下の御聖旨が解決に導き断乎たる措置となるものと存ず
229	井上延茂宛書簡	西原亀三	1936.7.29	封書1通	更生計画として抑制栽培貯蔵舎設備、育雛場拡張充実の助成を追加申請
230	井上延茂宛書簡	西原亀三	1937.1.24	封書1通	信用組合の蛸配は府庁にて監督者と協議明年度に消却することに了解
231	井上延茂宛書簡	西原亀三	1937.3.20	封書1通	嶋瀬道路に関し地主より中止申し出ある向き、工事は速やかに着工するよう曾根委員に取計い宜しく

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
232	井上延茂宛書簡	西原亀三	1937.3.22	封書1通	4月10日全国砂防協会総会にて講演のため滞郷の時間余裕なく今川氏の辞任速やかに運ぶよう工作お願い
233	井上延茂宛書簡	西原亀三	年月日不明	封書1通(封筒なし)	妻帯は延期少々地位を造る上に成すことにする旨。十五円融通お願い
234	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1915].11.13	封書1通	朝鮮より帰郷するにあたり雲原付近に乳母を求む
235	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1919].6.22	封書1通	「経済立国策」綴喜、何鹿、熊野郡他に送付。幣家8月中に落成、御東上切望
236	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1920].5.23	封書1通	現政府、金力と権力を擁し与党の大多数を実現
237	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1924].3.6	封書1通(封筒なし)	井上嘉蔵氏土地代金送付。清浦首相に選挙費制限の実行を力説する
238	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1927].3.8	封書1通(封筒なし)	奥丹震災の見舞い、雲原の被害の様相伺う
239	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1927].7.3	封書1通(封筒なし)	災害工事迅速に着手すべく福知山事務所に申し置く、査定金額は別紙
240	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1929].3.30	封書1通(封筒なし)	今回の議会解散に関して。ドイツで湧起せし革命動乱影響に関して
241	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1929].7.18	封書1通	金解禁による生糸値下落割合を理論より簡単に説明
242	井上延茂宛書簡	西原亀三	[1937].3.23	封書1通	災害防除対策十三年度より全国的に施行される見込み。村会議員選挙に関し和協輯睦の伝統保全の為申合公約誓うことに致す
243	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.10.7	封書1通(封筒なし)	植林寄付金五百円送付、寄付に関する由緒寄付植林地の規定の決定願いたし
244	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.-.18	封書1通(封筒なし)	[損傷大にて内容判読不可]
245	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.1.11	封書1通(封筒なし)	造林及管理費基本として朝鮮殖産銀行株券譲渡に際し印鑑を所要
246	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.1.19	封書1通	殖産銀行株券名義移転の件暫く保留致す旨
247	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.1.20	封書1通(封筒なし)	組合村の件地方局にて取調べ結果報告。自治の発達は無理をせぬこと肝要
248	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.10.18	封書1通(封筒なし)	雲原帰省中の礼。根本清吉を家畜研究会研究生として引受の懇情書差出頼む
249	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.10.9	封書1通	高山家不幸の電報文読み間違いにて安堵

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
250	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.11.15	封書1通(封筒なし)	当商会朝鮮進出につき賛助を願う
251	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.11.15	封書1通(封筒なし)	終生無官を以って国家に奉ずることが神鞭、寺内両氏の知遇に報ずることと存ず
252	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.11.22	封書1通(封筒なし)	小児帰郷にあたり乳山羊の購入いたしたく調査願う
253	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.13	封書1通	息子縁談の件
254	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.13	封書1通	里親見当たる。三良、四良は祖母の許に参る為転学手続願う
255	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.19	封書1通	里仁会理事会3日、評議会を10日に開催のため通知お願い
256	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.24	封書1通	帰郷の節、里仁会の用務後希望あれば講演するが
257	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.24	封書1通(封筒なし)	外交失敗と膨大なる増税案とに刺激され政局危機に瀕する為、長滞郷は難しく村人事は予め工作を願う
258	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.4	封書1通	弊宅観兵式のため入京の兵士宿舎となり眠る暇もなし
259	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.4	封書1通	里仁会の理事監事会の準備依頼。息子一良の縁談の件
260	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.5	封書1通	豚児配偶につき配慮深謝。文庫の準備として古本蒐集、目下和本1700冊を蒐集整理中
261	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.12.5	封書1通	天田蠶業会記念講演の断り。国民国家の危機を匡救すべく国民大日団の提唱画策中
262	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.2.10	封書1通	嫁探し配慮感謝
263	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.2.21	封書1通	立替金の返却は緩々にて結構
264	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.2.28	封書1通(封筒なし)	東都は稀有の降雪。議会解散、電車従業者スト、淀橋専売局火災などで危険な状態。社会改造に関する愚見別紙にて送付
265	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.2.3	封書1通(封筒なし)	里仁会外債利子勘定書記載。信用組合も改善に向かうようなれば里仁会預金預けてもよいのでは
266	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.3.19	封書1通	上京中の鈴木知事と祈願祭の期日相談。更生計画の助成金について委細。
267	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.3.28	封書1通(封筒なし)	西原藤吉倅延太郎、当家で引受けは致しかねる旨。和紙製糸業雲原村の村是として原料の増殖とともに企図すること必要

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
268	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.3.28	封書1通	神谷君の選挙苦戦の模様を付、中垣氏を介し方面に尽力願う
269	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.4.14	封書1通(封筒なし)	至急離婚に関する書式回付願いたし
270	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.4.17	封書1通(封筒なし)	老母病臥するに帰郷できぬ為心添え宜しく、女中雇入れの件も一考願う
271	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.4.19	封書1通(封筒なし)	東部電力株式書き換えにつき委任状、印鑑送付お願い
272	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.4.22	封書1通	政変に続く財界の大混乱を憂う、経済に無知識の首相に楽観蔵相では適確なる方策は困難
273	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.4.3	封書1通(封筒なし)	延太郎教育に関する配意に礼。現在の中等教育に関する考え述べる
274	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.6.23	封書1通	中垣氏不動産処分に際し田を買求めたく取り計らい宜しく
275	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.7.16	封書1通	村岡女史無事京城到着
276	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.7.30	封書1通	対支国策は此際一步を誤れば東洋の大混乱、東洋民族の共潰れを招くこと明らか転換せしめたく存ず
277	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.8.11	封書1通(封筒なし)	令息卓郎氏恐怖症治療に上京勧める
278	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.8.14	封書1通(封筒なし)	仏谷売物の山林地質よければ買求めたく万事一任いたす旨
279	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.8.21	封書1通(封筒なし)	卓郎氏の上京催促する
280	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.9.24	封書1通(封筒なし)	丹後縮緬業の窮状在東京丹後人たちが杞憂、自覺を促す為各地に講演に出向く予定
281	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.-.24	封筒のみ	
282	井上延茂宛書簡	西原亀三	19--.1.29	封筒のみ	
283	井上延茂宛書簡	西原亀三	1916.8.6	封筒のみ	
284	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.2.12	封筒のみ	
285	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.6.4	封筒のみ	
286	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.8.7	封筒のみ	

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
287	井上延茂宛書簡	西原亀三	1917.9.28	封筒のみ	
288	井上延茂宛書簡	西原亀三	1926.11.30	封筒のみ	
289	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.3.30	封筒のみ	
290	井上延茂宛書簡	西原亀三	1928.4.12	封筒のみ	
291	井上延茂宛書簡	西原亀三	1929.4.20	封筒のみ	
292	井上延茂宛書簡	西原亀三	1929.7.19	封筒のみ	
293	井上延茂宛書簡	西原亀三	1936.9.8	封筒のみ	
294	井上延茂宛書簡	西原亀三	年月日不明	封筒のみ	
295	井上延茂宛書簡	西原亀三	年月日不明	封筒のみ	
296	井上延茂宛書簡	西原亀三	年月日不明	封筒のみ	
297	井上延茂宛書簡	西山民吉	1918.1.4	封書1通	退職挨拶
298	井上延茂宛書簡	日本勸業銀行綾部出張所	1924.4	封書1通	発行割増金付勸業債券購入お願い
299	井上延茂宛書簡	培堂会発起人	年月日不明	封書1通	日下部大助還暦の賀筵盛大に結了
300	井上延茂宛書簡	橋本慎子	19--.12.24	封書1通	夫久次郎死去の知らせ
301	井上延茂宛書簡	橋本慎	19--.3.22	封書1通(封筒なし)	芳書惠贈の礼状
302	井上延茂宛書簡	長谷川宥太郎	1907.7.21	封書1通	先生御栄転の噂聞くが誠か。小生は学校勤務の傍ら実験心理学を聴講
303	井上延茂宛書簡	長谷川宥太郎	1922.6.18	封書1通	井上夫人の病氣見舞い。令息稔氏公誠校長就任祝詞
304	井上延茂宛書簡	長谷川宥太郎	1927.7.17	封書1通	東京での奉職の件相談
305	井上延茂宛書簡	長谷川宥太郎	1934.8.2	封書1通	西原氏の発案により9月東京に天田郡人会を創立
306	井上延茂宛書簡	波多野林一	19--.11.8	封書1通	父死去にあたり弔詞の礼
307	井上延茂宛書簡	氷上覚太郎、中島錦三郎	19--.2.16	封書1通(封筒なし)	例の教育会費の件柴田事務員の方へ出金お願い
308	井上延茂宛書簡	藤森勝郎	19--.4.19	封書1通	本庄氏与謝郡視学任用につき世話になった礼
309	井上延茂宛書簡	本庄彝	[1927].3.8	封書1通(封筒なし)	雲原震災の見舞い

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
310	井上延茂宛書簡	本庄彝	[1927].4.6	封書1通	公誠校長井上稔氏に決定した旨
311	井上延茂宛書簡	本庄彝	19--.2.6	封書1通(封筒なし)	父死去にあたり弔詞、香資の礼
312	井上延茂宛書簡	本庄彝	19--.5.19	封書1通(封筒なし)	芳墨拝受の礼状
313	井上延茂宛書簡	本庄彝	19--.8.25	封書1通	本日退営を命ぜられ国民兵に編入さる
314	井上稔宛書簡	本庄彝	1913.4.15	封書1通	過日京都三条にて西原氏と雲原村の教育 計画懇談
315	井上延茂宛書簡	本庄彝	1922.11.10	封書1通	昨日当地(久世郡)来訪の礼
316	井上延茂宛書簡	本庄彝	1923.2.4	封書1通	「丹波の理想郷建設の井上翁」と題して山城各所で講演
317	井上延茂宛書簡	本庄彝	1923.4.6	封書1通	令息結婚の祝い
318	井上延茂宛書簡	本庄彝	1924.1.1	封書1通	新年挨拶
319	井上延茂宛書簡	本庄彝	1925.5.3	封書1通	俗吏となって三年、行政の為御尽瘁の先生を益々崇敬
320	井上延茂宛書簡	本庄彝	1926.12.26	封書1通	御大喪に付年末年始の欠礼
321	井上延茂宛書簡	本庄彝	1927.9.16	封書1通	芳墨拝受の礼
322	井上延茂宛書簡	本庄彝	1928.1.30	封書1通	先日の拙宅宿泊感謝、又の来訪願う
323	井上延茂宛書簡	本庄彝	1928.4.28	封書1通	村長第六期目の就任受諾に感謝
324	井上延茂宛書簡	本庄彝	1933.8.24	封書1通	塩見国三性行調査書同封
325	井上延茂宛書簡	本庄彝	年月日不明	封筒のみ	
326	井上延茂宛書簡	本間果	19--.5.11	封書1通	御一統様流行感冒ゆえお見舞い
327	井上延茂宛書簡	本間果	19--.3.11	封書1通	銀行支店宮津町へ設置の件調査中
328	井上延茂宛書簡	本間蔄	19--.7.30	封書1通(封筒なし)	久栄縁談まとまる
329	井上延茂宛書簡	本間蔄	1905.1.1	封書1通(封筒なし)	新春挨拶
330	井上延茂宛書簡	牧兵吉	1905.2.25	封書1通	歩兵二十聯隊第八中隊にて軍戦中
331	井上延茂宛書簡	村尾鷹之介	19--.5.4	封書1通	本間氏の出張まで地所登記延期の件本間氏へ添書きお願い
332	井上延茂宛書簡	村尾鷹之介	19--.6.8	封書1通(封筒なし)	五十五銀行契約及び前借の件

文献番号	文献名	差出人	年月日	形態	内容
333	井上延茂宛書簡	村尾[鷹之助]	1907.5.3	封書1通(封筒なし)	雲原製糸株式会社の株式引受けお願い
334	井上延茂宛書簡	村上国吉	1924.3	封書1通(封筒なし)	衆議院選立候補挨拶状
335	井上延茂宛書簡	夜久主計之助	1928.6.4	封筒のみ	
336	井上延茂宛書簡	安太郎	19--.9.24	封書1通(封筒なし)	郡農会長拜命の折は助力お願い
337	井上延茂宛書簡	山口竹太郎	19--.1.11	封書1通	病気見舞い
338	井上延茂宛書簡	弓削	19--.2.13	封書1通(封筒なし)	婚儀の段取り相談
339	井上延茂宛書簡	由利啓三	19--.8.5	封書1通(封筒なし)	昨日は今川仙氏の発起で同窓会を開催
340	井上延茂宛書簡	吉田平次	19--.3.29	封書1通(封筒なし)	この度西原氏尽力により共益社で勤務する 事になる
341	井上延茂宛書簡	和田栄一	19--.3.18	封書1通	退職に付隣好会より金50円を贈呈
342	井上延茂宛書簡	[長谷川宥太郎]	19--.2.28	封書1通(封筒なし)	昨冬よりの借金返済猶予お願い
343	井上延茂宛書簡	不明	年月日不明	封書1通(封筒なし)	帝国鉄道庁廣島営業事務所車軸掛臨時雇 いとして出務
344	祝詞	井上延茂	1926.12.17	封書1通(封筒なし)	校舎増築落成式祝詞
345	京都府天田郡公報 第104号		1916.1.6	1部	
346	戦没者慰霊祭挨拶	井上延茂	1931.4.3	1通	
347	委任状		年月日不明	1通	五十五銀行株券買入及書換本間氏に委任
348	保証書	井上延茂、泉茂松	年月日不明	1通	中村清兵衛ほか3名宛、宛名部分のみ
349	納付数量書付		年月日不明	1枚	[米]納付数11月15日迄分
350	證符		年月日不明	封筒のみ	
351	定期預金証書	治久銀行	年月日不明	封筒のみ	

井上延茂関係資料目録

2006年6月 26日 印刷

2006年6月 30日 発行

編集・発行 同志社大学人文科学研究所

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

電話 (075) 251-3940

印刷 (有) 木村桂文社
